

北広島環境市民の会ニュース

2022 年 8 月 30 日発行（通算第 69 号）代表・藤野伸之 問い合わせ電話 011・375・6154（伊東）



ビーツや玉ネギを収穫 当会事務所で販売開始

無農薬で安心安全 生ごみ堆肥で育て栄養満点

北広島環境市民の会の会員たちが農園で栽培してきたビーツや玉ネギが収穫の時期を迎えました。当会事務所（稲穂町西 2 丁目 1 の 1）で、毎週火曜と木曜に販売しています＝右の写真参照＝。生ごみや刈り取り草を堆肥にして育てました。すべて無農薬。栄養が多い外皮も調理して大丈夫です。価格はビーツ中玉が 100 円（大玉 150 円）、玉ネギ 1 キ。300 円、ニンニク一束 200 円など。トマト、枝豆、サツマイモ、ヤーコンも廉価で提供します。販売時間は火、木とも午前 10 時～午後 3 時。祝日の日は休みです。売上金は来年の種苗代に充てます。



収穫したビーツを持つせなちゃん。せなちゃんは会員の後藤真弓さん（東共栄）の娘さんです。ビーツは抗酸化作用のある赤い色素が豊富。ボルシチやスムージー、ポタージュ、酢漬けなどにして食べるとうまい。レシピを事務所に用意しています

「いこーよ」の農園で実った玉ネギ。一般の農家の圃場では病害虫駆除のための農薬散布が繰り返行われていますが、ここでは一切していません。安心して外側の皮の部分も料理できます



■活動報告

☆生ごみ堆肥作り講習会

6月17日、18日に広葉交流センター「いこーよ」で行いました。初日は5人、2日目は9人参加し、生ごみが貴重な有機物であること、堆肥にするには水加減と空気を取り込みがポイントであることを説明しました。屋外の堆肥盤で実際に生ごみを入れてかき混ぜる実演をしました。

☆環境ひろば

6月25日に夢プラザで3年ぶりに開かれた「環境ひろば」にブースを設



置し、当会のごみ減量化活動を紹介。堆肥作り相談コーナーを設けました。会員の野島さんの尽力により、QRコードでスマホから当会にアクセスできるように設定し入会を呼びかけました＝左の写真参照＝。3月の石井一英北大教授の環境講演会もパソコンで上映しました。

☆ミニ講座

7月5日と7日に布ぞうりづくりの講習会を開きました。

☆環境学習会

7月15日に「いこーよ」で環境課の米村課長や長尾主査らを講師に迎え、2年後の広域焼却施設稼働に伴うごみの分別収集体制について説明してもらいました。現在の週2日の収集が週5日になること、生ごみについては今後も分別収集して「あしる」で再資源化することなどが説明されました。会員からは週5日になると出すのが大変になるという意見や、庭木の枝や金属類については公園に仮置き場のような簡易設備を設けていつでも出せるようにしてはどうかという意見が出されました。

9月11日に市民交流のイベント開催

◇会場でごみの分別を指導

◇農産物と布草履など小物販売も

◇会員の皆さんの参加協力募集

9月11日(日曜)に開かれる市民交流イベントに北広島環境市民の会も参加します＝右のポスター参照＝。

会場の市民交流広場(市役所横)で、会員が製作した古着リサイクルの小物を展示販売し、エコ農園や「いこーよ」で収穫した無農薬の玉ネギ、ピーズ、枝豆などを即売します。

さらに、ごみの再資源化の啓発活動を行います。会場に分別収集の箱を設け、参加者にごみを分けて入れてもらいます。

このイベントに協力してくださる方を募集します。イベントは10時間の長丁場なため、午前・昼・夕方の3班に分けて一人3時間くらい持ち場を担当してもらえればと考えています。

協力してくださった方には、玉ネギなど当会の農園で取れた無農薬で栄養豊富な農産物をお礼にお渡しします。伊東(☎375・6154)までご連絡ください。

